

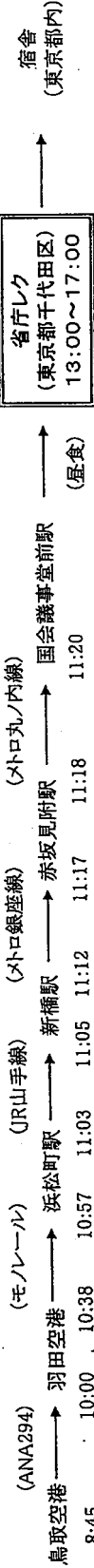
【様式例】

政務活動報告書 ①

活動事項	①国の観光戦略、エネルギー戦略等調査 ②千葉県一宮町の地方創生策調査
活動年月日	平成29年5月8日(月)～5月9日(火)
場所	中央省庁 千葉県一宮町
活動の相手方	中央省庁：観光庁観光資源課 玉石ニューツーリズム推進官 一宮町：小柳一郎企画課長他
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>①政府の観光戦略、エネルギー戦略、TPP 対応等、内容聴取し本県の政策に反映させる。</p> <p>②千葉県一宮町のサーフィンをもとにした地方創生策を調査し、本県の政策に反映させる。</p> <p>【内容】</p> <p>①資源エネルギー庁より、再生可能エネルギーの現状と課題を含めたエネルギー政策について説明を受けた。農林水産省より TPP の方向性と今後の農林水産業の輸出入対策について説明を受けた。官公庁よりインバウンドの現状と今後の方向性について説明を受けた。上記について本県の現状を踏まえ、意見交換を行った。</p> <p>②千葉県一宮町のまち・ひと・しごと創生戦略について説明を受けた。特に2020年東京オリンピック・パラリンピックサーフィン競技会場誘致運動や、サーフィンを利用した移住促進策等について説明を受け、意見交換を行った。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>①東日本大震災後に大きく転換した国のエネルギー政策の中で、再エネの普及促進は重要課題の一つである。本県においても、再エネ導入を、スピード感をもって推し進める必要がある。TPP 締結が我が国の農林水産業へ与える影響は大きい。試算を誤ることなく本県農林水産業を守るべく、国への要望も含め、様々な施策を立てる必要がある。観光を重要な成長分野と捉えている我が国において、これから、さらにインバウンドの増加が見込まれる。今後、ゴールデンルートから外れている地方に観光客が流れてくる中で、本県の誘客施策を早急にブラッシュアップする必要性を感じた。</p> <p>②一宮町のサーフィンに特化した思い切った創生戦略は、移住者増加など目に見える効果を出している。地域の特性を生かした戦略の重要性を痛感した。翻って本県は、本来持っている魅力、優位点などを生かし切れていないのではないかと感じ、多面的に戦略を練る必要性があると思われた。上記、提言等に反映させていきたい。</p>
関連領収書番号	18、20

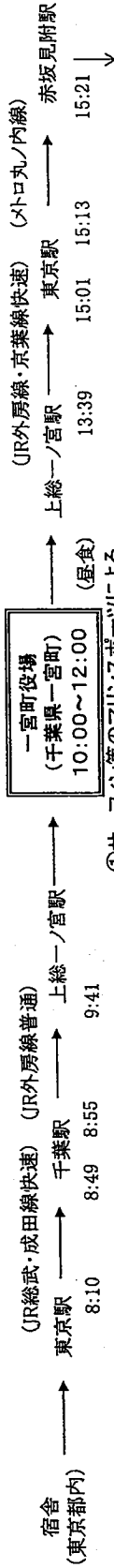
# 内田(隆)、野坂、福浜、藤井各議員政務調査日程

平成29年5月8日(月)



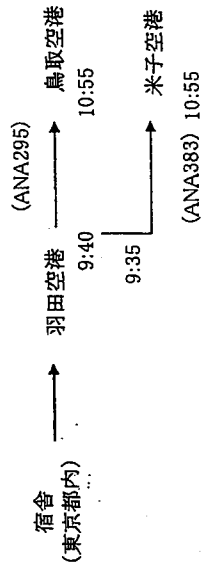
- ① 公共インフラにおけるコンセンション方式導入の現状と課題
- ② FIT制度を含め今後のエネルギー政策について
- ③ TPPの方向性と今後の農林水産業の輸出入対策
- ④ インバウンドの現状と今後の方向性について

5月9日(火)



- ① サーフイン等のマリンスポーツによる移住・定住促進について
- ② 東京オリンピックサーフィン会場誘致の取り組みについて

5月10日(水)



ホテルニューオータニ (東京都千代田区) 18:00~

## 【様式例】

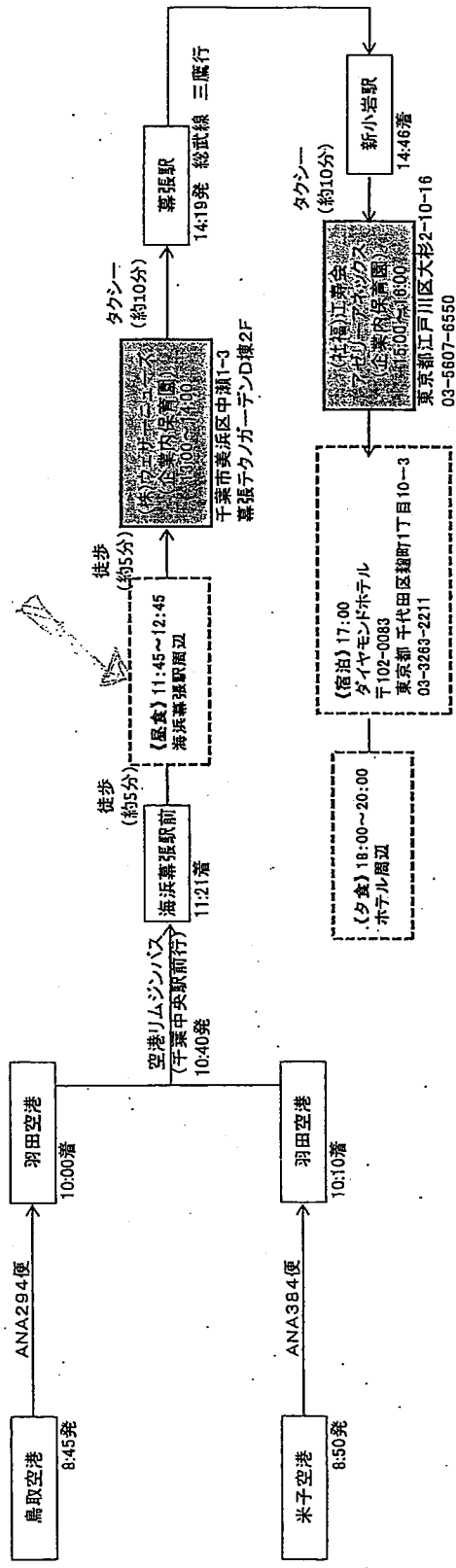
## 政務活動報告書 ②

活動事項	子育て王国とっとり推進議員連盟 県外調査
活動年月日	平成29年5月22日(月)～5月23日(火)
場 所	千葉県・東京都内企業内保育園 東京都 こども園
活動の相手方	(株)ウェザーニューズグローバルセンター 大石かおる氏 アゼリーアネックス 石田由美子園長 お茶の水女子大学こども園 宮里暁美園長
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>本県では、子どもを安心して産み育てられる地域社会を実現するために、平成22年に「子育て王国とっとりプラン」を策定し、「子育て王国とっとり」の建国を宣言した。合計特殊出生率は平成22年の1.54から平成28年は1.60と漸増しており、全国順位も11位と一定の効果を認めている。本県は、出生率に関して、2030年までに合計特殊出生率を県民の希望出生数である1.95まで引き上げること、さらに人口置換水準である2.07まで、国が想定している2036年よりも早く引き上げるという数値目標を設定している。今回の視察の目的は、さらなる少子化の進行を防ぐために、少子化対策の国内先進事例を学ぶことで、わが県の取り組みをさらに推進することである。</p> <p>【内容】</p> <p>①ウェザーニューズ社が、社員の子育てと職場での活躍を両立させるための取り組みの一つとして開設した企業内保育園を視察した。会社と同敷地内にあり、男性職員や外国籍の職員も含めて対象とするなど融通を聞かせた制度設計が特徴的であった。</p> <p>②社会福祉法人江寿会の事業所内保育所である、アゼリーアネックス保育園を視察した。介護施設に併設しており、高齢者との関わりなど、世代間交流も図られていた。育児休暇明けなど職場復帰後のサポート体制も充実していた。</p> <p>③文京区立お茶の水大学こども園を視察した。保育所待機児童の解消を目的とし、大学の知見を活用した、発達段階に応じた教育・保育が行われていた。真に子供の視点に立った施設運営がなされていた。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>本県の少子化対策をさらに推進するためにも、優れた先進事例を研究し、柔軟に取り入れていく必要性を痛感した。本県の政策に生かせる点などを、県政の場で積極的に意見発信していきたい。</p>
関連領収書番号	21 142

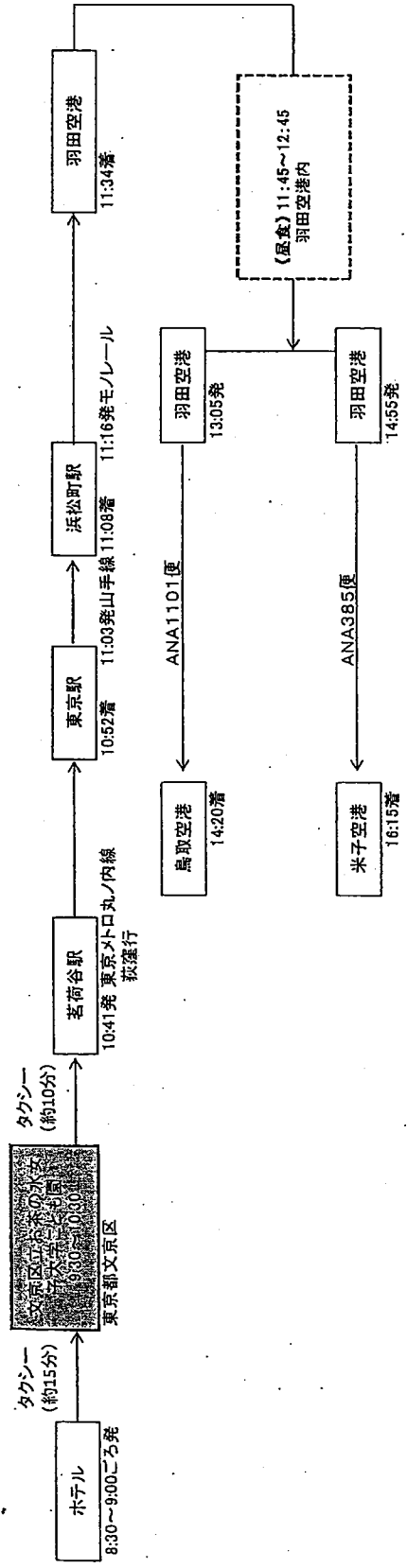
子育て王国とっとり推進議員連盟 県外調査行程《千葉・東京》

随行：調査課 成相  
(搭乗：)

5月22日(月)



5月23日(火)



【様式例】

政務活動報告書 ③

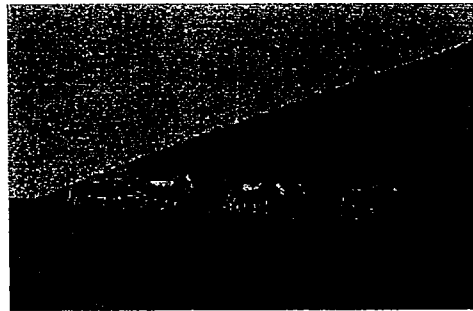
活動事項	第12回モンゴル友好交流の翼
活動年月日	平成29年7月28日(金)～8/2(水)
場 所	モンゴル国ゾーンモド市：モンゴル中央県庁舎 フムーン総合学校
活動の相手方	モンゴル中央県議会議員 フムーン総合学校関係者
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 鳥取県とモンゴル中央県との友好交流の覚書が締結されてから20年の節目の年を迎えた。これまで本県と中央県は、行政実務研修生や農業分野研修生の派遣や、青少年交流を含めた文化交流、医療分野での交流などを通して、強固な信頼関係を着実に育んできた。この度、鳥取県モンゴル中央県親善協会主催による友好交流事業「モンゴル友好交流の翼」に参加し、これまでの交流の歩みを振り返るとともに、モンゴルの人々と語り、触れ合うことで、友好交流の絆をさらに強くし、両県の更なる発展を促すことを目的とする。</p> <p>【内容】 ゾーンモド市にある中央県庁舎を訪れ、中央県議会議員であるエンフバト県議会議員、タシデム議員、マンガゾリク議員、プマンブヤン議員らと意見交換を行った。常任委員会設置状況等を含め議会制度の違いなどについて議論した。また、フムーン総合学校を訪れ日本語学級の生徒らと交流した。日本語学校の教育体制、今後の展望など教師らとも意見交換を行った。ホームステイ先ではモンゴルの一般家庭の生活を体験するとともに、市民が抱える課題や中央県・本県の市民交流に望むことなど、多方面にわたり懇談を行い、友好を深めた。</p> <p>【結果（成果）等】 本県と中央県が友好交流の覚書を締結した1997年以来、地道に積み上げられてきた両県の信頼関係の強さを、肌で感じる事が出来た。現地視察により、中央県の抱える諸課題について認識を深くした。特に環境汚染、経済的格差、都市住民と牧畜民の生活圏の隔絶など、早急に解決が図られるべき行政課題を目の当たりにした。これまで行ってきた行政実務研修生や農業分野研修生の派遣、受け入れや文化・青少年交流は継続しつつ、新たな交流のあり方も模索すべきだと思った。日本での就労を希望するモンゴルの若者が多い現状を鑑み、本県で出来る対応等、検討すべきと思われた。</p>
関連領収書番号	43、44

# 第12回モンゴル友好交流の翼

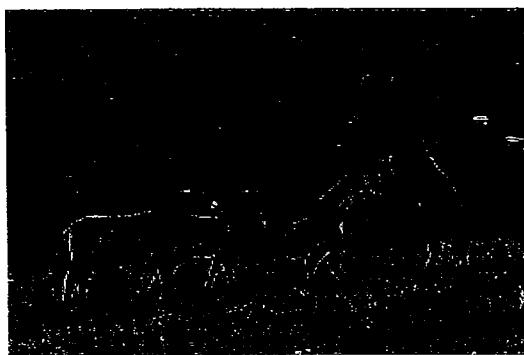
## MONGOLIA



ウランバートル市内



<ホスタイ国立公園>



※掲載写真は全てイメージです。

1：期 日 平成29年 7月28日(金)～ 8月2日(木)

2：人 数 26名  
\*他に添乗員1名

3：目 的 モンゴル中央県の人々との交流  
ホスタイ国立公園訪問

第12回モンゴル友好交流の翼 (県議用)  
モンゴル中央県の方々との交流とホスタイ国立公園への旅 5泊6日

<空港集合時間>

鳥取空港 8:00 / 米子空港 8:10 緊急連絡先 (添乗員杉本080-4759-4029)

期 日	内 容	宿 泊
7/28 (金)	8:45鳥取空港 → 10:00羽田 (バス) → 14:40成田 → 20:10ウランバートル 8:50米子空港 → 10:10羽田 21:30ホテル着 (空港～ホテル 20分)	ウランバートル (ロイヤル)
7/29 (土) 交流日	8:15 ウランバートル → 9:30 ゾーンモド市 (中央県) 中央県ゾーンモド市との交流 歓迎式 10:00 中央県議会議員との意見交換 ・選挙制度 ・議会運営 ・議会の権限 ・県政の諸課題 等 中央県レストランで昼食後、 ゾーンモド市民と草原での交流 モンゴル文化：馬頭琴演奏、競馬、 日本文化：ゲーム(綱引き、飴食い競争、パン食い競争、日本のお菓子試食) 交流会後、各ホームステイ先へ	ゾーンモド市 ホームステイ
7/30 (日) 交流日	各自ホストファミリーとの交流(朝・昼食はホストファミリー宅で) (各自、希望により視察等) 16:00 ゾーンモド発 (途中：元農業研修生バヤルフー農場を視察、農場事情に触れる) → 新空港建設地視察 → 18:00 ホテル着 夕食：寿司ヒロ 日本食	ウランバートル (バヤンゴル)
7/31 (月)	8:30 ホテル発 → 11:00 ホスタイ国立公園着 指導員の案内で公園内散策、乗馬 研究者によるセミナー	ホスタイ国立公園 ゲストハウス (ゲル)
8/1 (火)	8:30 ホスタイ国立公園発 → 11:00 ウランバートル ザイサントルゴイ 12:00 ダンバダルジャー日本人墓地跡参拝 昼食 シャングリラホテル 韓国料理 14:30 スフバートル広場、デパート ・ザハ (市場) 等	ウランバートル (プレミウム)
8/2 (水)	8:55ウランバートル → 13:40成田→リムジンバス→19:30羽田 → 20:45鳥取空港 18:35羽田 → 19:55米子空港	

※スケジュールの変更が生じる場合もございます。

【様式例】

政務活動報告書 ④-1

活動事項	島根原子力発電所 現地調査
活動年月日	平成29年7月4日(火)
場 所	島根原子力館 島根原子力発電所(松江市鹿島町片句654-1)
活動の相手方	天野鳥取支社長 長谷川副本部長
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>本県は、島根原子力発電所から30km圏内に属する境港市、米子市を有する広域自治体として、原発の現況を注視すべき立場にある。県民の安全を守るべき議員の立場にたって、本年4月に廃止措置計画を認可された1号機、停止中の2号機、建設中の3号機の現況等を把握し、見識を高めることを目的とした。</p> <p>【内容】</p> <p>原発の安全対策について長谷川副本部長より、概要を聴取した。具体的には原子力規制委員会で策定された新規制基準の遵守、耐震性の向上、周辺活断層の緻密な調査を含めた地震対策、科学的知見を踏まえた十分な津波対策、さらに重大事故が発生した場合の安全3原則である「止める」「冷やす」「閉じ込める」を死守するための対策としての、外部電源の信頼性確保、冷却機能の多重化等について説明を受けた。</p> <p>次に1・2・3号機を含めた施設全体をバスで運行しつつ見学した。併せて、免震重要棟、シミュレータ訓練棟の施設内見学を行った。</p> <p>その後、カンファレンスルームに戻り、活発な意見交換を行った。鳥取県議会会派自民党として、①周辺自治体である鳥取県に対して、情報伝達を含め、立地自治体と同等の説明責任を果たすこと②過度な不安を払拭するため、放射線の知識等の住民への普及啓発に努めること③万全な安全対策について自治体との綿密な連携を図ること④1号機の廃止措置についても引き続き住民への説明責任を果たすこととして、上記4項目の意見要望を行った。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>現地視察をすることによって、徹底された安全対策、現場職員の高い安全意識を確認することが出来た。原発の運用は国のエネルギー政策に依るものであるが、30km圏内に境港市、米子市を有する周辺自治体の県議会議員として、県民の安心、安全な生活がしっかりと確保されるよう、県政での発言につなげていきたい。</p>
関連領収書番号	41 140



【様式例】

政務活動報告書 ④-2

活動事項	山陰合同銀行 地方創生への取り組みについて意見交換
活動年月日	平成29年7月4日(火)
場 所	山陰合同銀行本店 (松江市魚町 10)
活動の相手方	今若康浩常務、安喰哲哉地域振興部長、井上光悦副調査役
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 東京一極集中の傾向が続く中、人口減少、少子高齢化の進行が著しい鳥取県においては経済、産業復興による地方創生の実現が急務の課題である。金融機関の力強い牽引力が必要とされる今、山陰両県に根差す金融機関である山陰合同銀行の地方創生の取り組みについて意見交換し、今後の地方創生を主眼とした県政運営につなげることを目的とした。</p> <p>【内容】 合銀の地方創生への取り組みについて、今若常務、安喰部長、井上調査役より概要説明を受けた。 具体的には、起業、創業への支援対策として、応募総数が第1回は106、第2回は80と活況である「ごうぎん起業家大賞」の創設や、セミナー開催による女性活躍支援等が行われており、また、新たな資金調達ニーズへの対応としてクラウドファンディング事業者との協定を締結するなど、資金調達支援策等も策定され案件も成立するなど、現況成果の詳述があった。さらに、6次産業化を含めた農林水産業の成長支援、ビジネスマッチング、地域経済分析システム(RESAS)の普及促進など、合銀の持つ広域なネットワークを生かして多方面から産業振興を図っていることなどが説明された。 その後の質疑では、会派自民党からは、他県の金融機関の例も挙げながら、より積極的な山陰合銀の産業支援介入を求める意見も発せられるなど、活発な意見交換が行われた。</p> <p>【結果(成果)等】 地方創生に対する山陰合銀の取り組みについて様々な事例を含めた詳細な説明を通し、認識を深くした。また、各議員からの県民の思いを踏まえた指摘、質問など、双方にとって非常に有意義な意見交換が行われたと考える。県民の生活の質向上を第一義と考える県議会議員として、山陰を代表する金融機関の地方創生への取り組みを把握しつつ、今後の県政への提言に生かしていきたい。</p>
関連領収書番号	41 140

【様式例】

政務活動報告書 ④-3

活動事項	J R西日本 瑞風を生かした観光振興について 意見交換
活動年月日	平成29年7月5日(水)
場所	J R西日本米子支社 (米子市弥生町2)
活動の相手方	梅谷米子支社長、和田地域振興部副本部長 木内地域振興部課長、陰山総務企画課課長
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 平成29年6月17日に運行開始された TWILIGHT EXPRESS 瑞風について、これを鳥取県の魅力発信の好機ととらえ、いかに最大限の効果を生み出すかが問われている。J R西日本に瑞風のコンセプト、今後の運用の仕方を伺うとともに、鳥取県として、地域活性につなげるために、瑞風を生かした観光振興策をどのように進めていくべきか考察することを目的とした。</p> <p>【内容】 J R西日本米子支社を訪問し、梅谷米子支社長らと「瑞風」を生かした観光振興等について懇談した。瑞風のコンセプト、観光振興と併せた今後の展望等について説明を受けた。また、6月17日の運行開始から今日に至るまでの利用者の感想や、地元の反響等は如何なるものであったか、またJ Rとして、それらをどのように受け止め、今後の運用にどう生かすかなど意見を伺った。</p> <p>具体的には、6月17日に東浜駅に瑞風が臨時停車した際などの地元の熱狂的な盛り上がりで大いに感銘を受けたことや、東浜駅のリニューアルに合わせて、新たに開店した海辺の絶景を有するイタリアレストラン「アルマーレ」などの潜在的魅力を高く評価され、東浜駅の今後の恒常的な停車駅化などにも言及された。</p> <p>議員からは瑞風のブランド力を生かした価格設定についての質問や、利用客層の分析、インバウンドを見据えた戦略構築についての意見など、活発な質疑があり、有意義な意見交換が行われた。</p> <p>【結果(成果)等】 意見交換を通じて、J R西日本の瑞風に対する強い熱意を感じるとともに、地元住民の大きな盛り上がりも合わせ、一体感を持った素晴らしいスタートがきられたことを感じた。この盛り上がりで最大限の地域活性化につなげていくためには、付随的な取り組みを効果的、継続的に進めていくことが肝要である。議員として広い視野を持ちながら、有効な施策が取り組まれるように、県政への提言に生かしていきたい。</p>
関連領収書番号	41 140

会派自民党・鳥取県議会会派希望 政務調査日程

H29. 6. 29

平成29年7月4日(火)

時 間	場 所	備 考
9:44	鳥取駅発	スーパーおき3号(乗車)山口、福田、福浜
9:48	鳥取大学前駅発	↓ (乗車)藤縄
10:12	倉吉駅発	↓ (乗車)横山、川部、藤井
10:46	米子駅発	↓ (乗車)上村、稲田
11:08	松江駅着	↓
	タクシー(約35分)	
11:45	島根原子力館着 ※別添参照	(昼食)弁当@1,080円(お茶付)×9
14:45	島根原子力発電所 (松江市鹿島町片句 654-1) 【緊急時の連絡先】090-2296-1056	現地視察及び意見交換 ・島根原子力発電所の安全対策について (中国電力鳥取支社 山田副支社長)
	タクシー(約30分)	
15:30	山陰合同銀行 (松江市魚町10) 電話:0852-55-1000	意見交換 ・山陰合同銀行における地方創生の取組 について
17:00	タクシー(約2分)or 徒歩(約6分)	
17:30	皆美館 (松江市末次本町14) 電話:0852-21-5131	懇親会(会費1万円) ※山陰合同銀行:頭取ほか1名 ※中国電力:鳥取支社長ほか1名
	タクシー(約5分)	
21:30	ドーミーインエクスプレス松江 (松江市朝日町498-1) 電話:0852-59-5489	禁煙シングルルーム(朝食付)7,980円 ※1階,5階,7階に喫煙ルームあり

平成29年7月5日(水)

時 間	場 所	備 考
8:30	ドーミーインエクスプレス松江発	
	徒歩(約5分)	
8:57	松江駅発	やくも10号
9:20	米子駅着	↓
	徒歩(約2分)	
10:00	JR西日本米子支社 (米子市弥生町2 総務企画課) 電話:0859-32-0255(吉村氏)	意見交換 ※梅谷泰郎支社長対応 ・鉄道(瑞風)を生かした地域振興・観光 振興について ※当日は1階受付で「支社長様との約束あり」とお伝えください
11:00	徒歩(約2分)	
12:17	米子駅発	スーパーまつかぜ8号
12:54	倉吉駅着	↓ (降車)横山、川部、藤井
13:21	鳥取大学前駅着	↓ (降車)藤縄
13:26	鳥取駅着	↓ (降車)山口、稲田、福田、福浜

【様式例】

政務活動報告書 ⑤

活動事項	林活地方議連全国連絡会議平成29年度定時総会
活動年月日	平成29年7月11日(火)
場 所	東海大学校友会館
活動の相手方	林活地方議連全国連絡会
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議定期総会に出席し、連盟の平成28年度の事業計画、決算、平成29年度の事業計画案、予算案など各議案についての審議に加わり、連盟の意思決定に参画することを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>平成29年7月11日に東京都千代田区霞が関の東海大学校友会館（霞が関ビル35階）で開催された、全国連絡会議定期総会に出席した。全国の都道府県議会議員、市町村議会議員、行政職員併せて約150名の参加のもと、総会が開催された。谷洋一会長の挨拶に続き、沖修司林野庁長官による来賓挨拶があった。議事としては平成28年度事業報告、収支計算書の監査報告、平成29年度事業計画案、収支予算案についての説明があった。議事審議の後、法政大学デザイン工学部建築学科教授の網野禎昭氏による、「ヨーロッパの木造建築から『木と建築と社会』を考える」と題した講演が行われた。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>我が国の林業・木材産業は、木材需要の減少、木材価格の低迷、担い手不足など深刻な状況に置かれている。特に地方においては進行する少子高齢化を背景に産業の維持自体が困難な危機的状況を迎えている。一方、地球温暖化の進行や局地的な豪雨災害頻発を背景に、公益的機能を有する森林保全の重要性は日増しに高まっている。これらのことから、林業・木材産業の持続可能性を担保することが国家的課題であることは論を俟たない。上記の論点により様々な議論が行われた。林活地方議連全国連絡会議の活動として、森林環境税の早期実現等を含め、国会、関係行政機関等へ積極的に意見具申を行っていくとの意見一致を得た。また、森林・林業・木材産業施策の積極的な展開のための提言も行うこととなった。県議として、本県の林業振興に資する各種提案を県政の場で行っていききたい。</p>
関連領収書番号	42

平成29年6月9日

会 員 各 位

鳥取県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟

会 長 内 田 博 長

## 林活地方議連全国連絡会議平成29年度定時総会 の出席について（依頼）

このことについて、下記のとおり開催される予定ですので、御出席くださるようお願いします。  
ついては、出欠の可否について、6月15日（木）までに事務局までご返答をお願いします。

記

林活地方議連全国連絡会議平成29年度定時総会

日時：7月11日（火）13時30分～16時

場所：東海大学校友会館35階「阿蘇の間」TEL：03-3581-0121

（東京都千代田区霞が関3-2-5霞が関ビル）

※今年度は県外調査を行いたいと思いますので、林活議連からの参加助成は行わないこととします。

内田  
伊藤  
福渡  
中島  
淡田  
藤井

} 参加

事務局 中島、石本 電話 0857-26-7464

FAX 0857-26-7461

【様式例】

政務活動報告書 ⑥

活動事項	第11回全国和牛能力共進会宮城会場出品者激励会
活動年月日	平成29年9月9日(土)
場 所	宮城県仙台市
活動の相手方	鳥取県推進委員会会長 谷口節次氏 他出品者
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>平成29年9月7日から11日にかけて宮城県で開催された第11回全国和牛能力共進会において、鳥取県代表牛が優秀な成績を収めるべく、9月9日に全国和牛能力共進会鳥取県推進委員会主催により宮城県にて開催された出品者激励会に参加する。もって関係者一同が出品者を激励し、県内関係者一丸となって共進会に挑む機運を醸成する。</p> <p>【内容】</p> <p>平成29年9月9日に宮城県秋保温泉「伝承千年の宿 佐勘」で、知事、国会議員、県議会議員、市町村関係者、出品者等、約95名の参加のもと激励会が開催された。推進委員会の谷口節次会長の開会挨拶に続き、赤沢亮正代議士、平井伸治知事、福岡裕隆鳥取県議会副議長の激励の言葉があった。県選手団長の宮崎浩樹選手団長より激励の言葉に対し、和牛王国再興を約束する旨の力強い決意表明が行われた。その後の懇親会では、共進会の中間報告や大会成績展望の分析など各種意見交換が行われた。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>全共の審査部門は、体形の良さなど、改良成果を月齢別に審査する「種牛の部」と肉質を審査する「肉牛の部」など合わせて10の区分がある。第11回全共では、全国から史上最多の513頭が出品され、本県からは種牛の部に18頭、肉牛の部に8頭が出品された。種牛能力と産肉能力を総合評価する第7区のうち、肉質を評価する部門で本県出品牛が堂々の1位を獲得した。7区総合でも宮崎県に次いで2位となり、素晴らしい成績を収め、共進会を終えた。昭和41年の第1回和牛能力共進会で1位を獲得した鳥取県の「気高」号が全国のブランド牛の始祖として名高い。その後、やや低迷気味であった本県の和牛業界であったが、ゲノム解析等を含めた、関係者の不断の努力により勝ち得たこの度の栄冠はまさに快挙である。今後の更なる発展に向け、県政の場でも後押ししていきたい。</p>
関連領収書番号	53、54

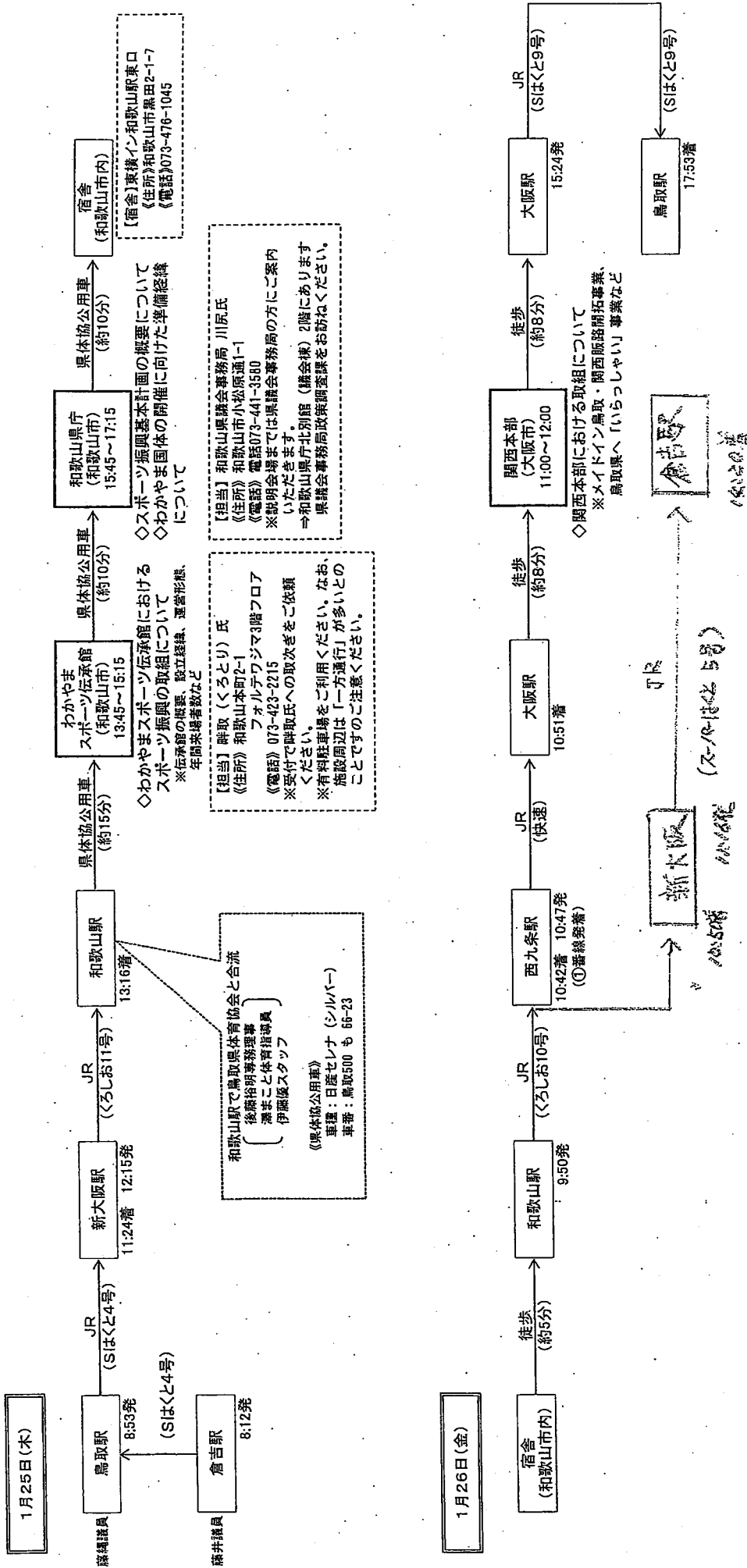
【様式例】

政務活動報告書 ⑦

活動事項	和歌山のスポーツ振興の取り組みについて視察調査
活動年月日	平成30年1月25日(木)～1月26日(金)
場所	和歌山スポーツ伝承館、和歌山県庁
活動の相手方	和歌山スポーツ伝承館館長 江川哲二氏 和歌山県庁生涯学習局スポーツ課 プロジェクト推進班 班長 阪部 貴行氏他
目的・内容・結果等	<p>【目的】</p> <p>①和歌山スポーツ伝承館を視察し、また館長等関係者と意見交換を行うことで、同館の開館経緯や概要等聴取する。以って本県のスポーツ伝承館設立の可能性等を探ることを目的とする。</p> <p>②和歌山県庁にて和歌山県のスポーツ振興の取り組みについて意見聴取し、以って本県のスポーツ振興へ繋げることを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>①和歌山スポーツ伝承館にて、江川館長、畔取事務局長より事業内容等聴取した。また、実際に館内を視察した。</p> <p>②和歌山県教育庁生涯学習局スポーツ課鷺岡班長、阪部班長よりスポーツ振興基本計画の概要について、また、わかやま国体の開催に向けた準備経緯等について聴取し、意見交換を行った。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>①和歌山スポーツ伝承館は、和歌山市市街地にある大型複合施設「フォルテワジマ」内に設置されており、2011年に開園し、特定非営利活動法人として運営されている。和歌山県ゆかりの数々のスポーツ選手の活動記録やオリンピックメダル、ユニフォーム等が展示され、実際にそれら展示品を手にとることが出来るなど、体感して楽しめるような工夫がなされていた。県ゆかりのスポーツ選手の活躍が年代を追って分かりやすく把握できるようになっており、スポーツを通じた郷土愛の醸成に大きな役割を果たしているように感じた。書道展なども企画されるなど、広く市民に浸透している印象を受けた。</p> <p>本県にスポーツ伝承館を設立する必要性は十分にあると感じた。また、交流人口の多い商業施設内に開設するメリットや運営手法など、多くの点で参考になった。本県のスポーツ伝承館設立の可能性を探っていきたい。②2015年に開催されたわかやま国体への準備経緯等について、長期プランによる指導者、選手の育成手法は非常に参考になった。本県の時期国体開催を見据え、今後の計画作成等に議員としての立場で生かしていきたい。</p>
関連領収書番号	98、99

# 藤縄喜和議員、藤井一博議員 政務調査行程(わかやまスポーツ伝承館、和歌山県庁、関西本部)

H30.1.11現在





【様式例】

政務活動報告書 ⑧

活動事項	アシックススポーツミュージアムの取り組みについて 大阪府の日本遺産を活用した観光振興の取り組みについて
活動年月日	平成30年2月20日(火)～2月21日(水)
場 所	アシックススポーツミュージアム 麒麟のまち、大阪府
活動の相手方	アシックスミュージアム館長 久米勝冬氏 他
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>①アシックススポーツミュージアムの取り組みを調査することで本県のスポーツ振興の可能性を探る。</p> <p>②大阪市北区中ノ島フェスティバルタワーにある、鳥取県のアンテナショップである「麒麟のまち」を視察し、各種市場調査を行う。</p> <p>③大阪府の、日本遺産「竹内街道・横大路」を活用した観光振興の取り組みについて調査することで、本県の日本遺産の今後の生かし方などに反映させる。</p> <p>【内容】</p> <p>①アシックス創業者である、本県出身の鬼塚喜八郎の創業理念やスポーツシューズ開発を中心としたアシックス発展の歴史について深く学んだ。</p> <p>②「麒麟のまち」の取扱商品や売れ行き、来客者の人数、内訳等、概要聴取した。</p> <p>③日本遺産「竹内街道・横大路」を活用した観光振興策について、沿道自治体の連携体制、特徴ある取り組みについて概要聴取した。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>①創業者鬼塚喜八郎氏の創業理念である「青少年の健全育成の礎たらん」とする思いの強さ、またその熱意が世界的大企業となった今日でも連綿と受け継がれていることに感銘を受けた。青少年の健全育成という理念を柱に、本県のスポーツ振興の取り組みに生かせると思われた。</p> <p>②本県製品の人気は非常に高いことがわかった。その利点を最大限に生かすためには、更なる物流ルートの改善などが必要であると思われた。また、広報活動の重要性も痛感した。</p> <p>③寺社仏閣などの構成遺産や地域イベント会場をつなぐための周遊バス整備や、各種メディアを利用した広報活動など、来訪者目線でのきめ細かい対応がなされていた。本県の日本遺産活用にも参考になると思われた。上記、提言につなげていきたい。</p>
関連領収書番号	109、110

# 藤縄喜和議員、藤井一博議員 政務調査行程(アシックススポーツミュージアム、麒麟のまち、大阪府)

H30.2.16現在

2月20日(火)

藤縄議員  
鳥取駅  
10:46発  
↑(Sはくと6号)  
倉吉駅  
10:13発

三ノ宮駅  
13:02着  
徒歩(約2分)  
三ノ宮駅  
(13:13発)  
※三宮行は10分間隔で運行  
神戸新交通  
(ポートライナー線)  
中埠頭駅  
(13:28着)  
徒歩(約2分)  
中埠頭駅  
15:48発  
神戸新交通  
(ポートライナー線)

アシックススポーツミュージアム (神戸市)  
309-8330  
309-8330

◇アシックススポーツミュージアムの概要について  
(住所) 神戸市中央区港島中町7-1-1  
(電話) 078-303-1329  
※入館無料、自由見学 (各フロアに係員常駐)

藤井議員  
倉吉駅  
10:13発

三ノ宮駅  
16:09発  
JR神戸線 (快速)  
三ノ宮駅  
16:00着  
徒歩(約2分)  
三ノ宮駅  
16:09発

麒麟のまち (大阪市)  
300-3300  
300-3300

◇「麒麟のまち」の概要について  
(住所) 大阪府北区中之島2-3-18  
中之島フエスハイバルタワー (BIF)  
(電話) 06-6202-5335  
【窓口】 鳥取市関西事務所 (電話06-6341-3990)  
中原所長、片井関西地方創生推進員  
※17:00に店舗前で中原所長と待ち合わせ

【宿舎】梅田OSホテル  
(住所) 大阪府北区宮前橋2-11-5  
(電話) 06-6362-0010  
※シングル、禁煙、朝食付  
12,400円(税込)

2月21日(水)

宿舎  
(大阪市内)  
10:00着

大塚駅  
10:00着  
タクシー  
(8~24分)  
大塚駅  
10:00着  
タクシー  
(9~24分)  
大塚駅  
13:24発  
JR (Sはくと7号)  
鳥取駅  
15:53着  
JR (Sはくと7号)  
倉吉駅  
16:22着

◇日本遺産「竹内街道・横大路」を活用した観光振興の取組について  
【担当】 大阪府都市整備部交通道路室  
道路整備課 辻田グループ 三室 (みやけ) 氏  
(住所) 大阪府中央区大手前2-大阪府庁別館4階  
(電話) 06-6944-9275  
※当日は道路整備課 (三室氏) をお訪ねください。

【様式例】

政務活動報告書 ⑨

活動事項	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会総会 及び現地調査
活動年月日	平成29年8月25日(金)
場 所	京丹後市役所 丹後庁舎 2階 202会議室
活動の相手方	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会総会を行う。 併せてジオパーク内の現地調査を行う。</p> <p>【内容】 山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員10名、行政関係者9名の出席のもと、総会が開催された。事業報告、事業計画が承認され、役員重任を決議し閉会となった。現地視察では琴引浜鳴き砂文化館を視察した。</p> <p>【結果（成果）等】 山陰海岸ジオパークは、2008年に日本ジオパークと認定された。今年が2回目の認定審査の年にあたり、また、来年には世界ジオパークの認定審査も控えている。ジオパークとしては、地球の地質、地形といったジオ要素に加えて、ジオを土台とした人間活動の現れである、生活風土、伝統、文化などが特徴的に育まれている地域が指定されている。ジオパーク認定を受けることで、自然環境の保全、教育、地域振興が図られることが期待されているわけである。山陰海岸ジオパークは三府県がまたがる地域であり、地域的な過疎化の進展など、全域的な連携を図るという面にやや不安要素が残る。三府県議員の会の議員として、三府県の連携に関して大きな力となれる立場にいることを自覚し、議員間でのコミュニケーションを密に図り、連携推進の後押しを図っていくことを確認した。また、各議会において、ジオパークの取り組みについて様々な政策提言を行い、必要ならば国への要望活動も積極的に行っていく。</p> <p>琴引浜鳴き砂文化館の現地視察では、館内の展示物、展示内容、展示方法などを重点的に視察したが、「カエルのゆりかご」、「ブーミングサンドの音実験装置」等、鳴き砂を体験できるような展示もあり、非常に魅力ある施設であると感銘を受けた。ジオパークに訪れた方が文化館にスムーズに来館できるような、広報のあり方や交通環境整備を含めて検証する必要があると思われた。また、増加するインバウンド対策も含め議員の会議員として検討していきたい。</p>
関連領収書番号	145

【様式例】

政務活動報告書 ⑩

活動事項	北朝鮮による拉致被害者救出のための国民大集会
活動年月日	平成29年9月17日(日)
場 所	シェーンバッハ・サボー
活動の相手方	家族会の皆様、国会各党代表者等
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】上記国民大集会に出席することで、拉致問題解決に向けた出席者の思いを一致団結させ、より強固なものとするに加え、我々の強い決意を国内外へ広く発信することで、北朝鮮拉致問題の早期解決を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】ジャーナリストである櫻井よしこさんの開会の挨拶に始まり、家族会代表飯塚繁雄さん、拉致議連会長平沼赳夫衆議院議員の主催者挨拶と続いた。政府拉致問題対策本部長である安倍晋三内閣総理大臣からは、米国を始めとして国際社会と協調して、北朝鮮に圧力を加え続けながら、拉致問題解決にむけて突き進んでいくとの力強い挨拶があった。その後、国会各党代表者挨拶、上田清司埼玉県知事挨拶、米山隆一新潟県知事挨拶、松田良昭神奈川県議会議員挨拶等に続いて、家族会の皆様からの切実な訴えの表明があり、最後は拉致議連事務局長代理の笠浩史衆議院議員より決議案朗読がなされ、閉会となった。</p> <p>【結果(成果)等】国際社会の度重なる警告を無視して、北朝鮮は弾道ミサイル実験を繰り返し、核実験を強行している。北朝鮮は国際社会からの孤立を深めているが、北朝鮮の暴挙が各国から警戒される中で、今後様々な交渉が行われ、北朝鮮情勢が動き出す局面を迎えているのもまた事実である。我が国としては、北朝鮮との間に抱える拉致問題解決を国家の最重要課題と位置づけ、この機を絶好のチャンスと捉え、「今年中に全拉致被害者の救出を」という決意を国民大集会の場で強く表明した。本県では米子市の松本京子さんが政府に拉致被害者と認定され、また、3名の方について拉致の可能性が否定できないとされている。当該県として、拉致問題早期解決に向けて、今後ますます強く国に対して訴えていく必要がある。また、拉致被害者帰国の際に備えて、帰国後の支援体制の構築も含め、準備を進めていく必要がある。北朝鮮拉致問題早期解決促進鳥取県議会議員連盟の議員としても、県政の場で問題提起をし、また、街頭演説会等で訴えるなど、早期解決に向け全力で取り組んでいく。</p>
関連領収書番号	150

## 【様式例】

## 政務活動報告書 ⑪

活動事項	鳥取・岡山県境議員連盟 総会
活動年月日	平成29年8月29日(火)
場 所	津山国際ホテル
活動の相手方	岡山県議会議員、鳥取県議会議員 鳥取県・岡山県担当課課長等
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>鳥取県・岡山県県境議員連盟の総会を開催した。議事として、役員改選、平成28年度事業報告及び収支決算、平成29年度事業計画及び収支予算について審議した。</p> <p>また、意見交換会にて活動報告や県境での政策課題を話し合うことで、活動成果の吟味や、問題点の洗い出し、今後の県境議連としての活動の方向性を模索することを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>総会での役員改選、平成28年度事業報告及び収支決算、平成29年度事業計画及び収支予算については、全会一致で承認された。</p> <p>意見交換会では、まず、岡山県議会議員の河野慶治議員よりスイス視察の結果報告がなされた。次に、ドクターヘリの運用について鳥取県福祉保健部医療政策課の中川善博課長、岡山県保健福祉部医療推進課の則安俊昭課長よりそれぞれ説明がなされた。最後に移住・定住促進について、鳥取県元気づくり総本部とっとり暮らし支援課の齋尾安広課長、岡山県県民生活部中山間・地域振興課の大森利弘課長よりそれぞれ説明がなされた。各項目について活発な意見交換がなされた。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>スイスにおける林業経営や再生可能エネルギー利用の取り組みから、自然と共存しつつ人間の経済活動を維持していくための様々な手法を学んだ。特に持続可能性のある林業経営の実現に向けて、県境議連として世界の先進事例を参考に政策提言していく。鳥取県単独でのドクターヘリ運用開始に伴い、迅速に専門的医療を提供できる地域が広がることが期待される。その効果を最大限に発揮させるべく、中山間の消防や医療機関等の連携体制の構築が急務であり、県境議連としても意見交換、提言等行っていく。移住定住促進に向けて、魅力ある地域づくりなど、環境や文化的につながりの深い県境の自治体での協力が不可欠である。議連としても鋭意取り組む。</p>
関連領収書番号	153